

表1 普及対象地域¹⁾における生育特性²⁾

場所	品種名	発芽期 (月日)	初期生育 ³⁾ (月日)	絹糸 抽出期 (月日)	稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	倒伏 個体率 ⁴⁾ (%)	すす紋 病 ³⁾	ごま葉 枯病 ³⁾	根腐病病徴発生率 (%) ⁵⁾		収穫時 熟度	有効雌 穂割合 (%)
										収穫前	収穫時		
北見農試 (3カ年)	TH1475	5.28	5.1	8.8	276	113	2.0	1.2	1.7	0.0	0.0	糊後	99.4
	KD418	5.29	4.5	8.6	251	111	14.5	1.7	1.8	0.0	0.0	糊後	99.4
畜試 (3カ年)	TH1475	5.26	5.3	8.6	269	106	48.1	1.9	1.3	0.0	0.0	黄初	99.4
	KD418	5.27	4.4	8.5	248	113	87.5	1.6	2.8	0.4	1.7	黄初	100.0
十勝牧場 (1カ年)	TH1475	5.24	5.0	8.6	256	111	0.3	3.7	1.0	0.0	0.0	糊後黄初	100.0
	KD418	5.25	4.0	8.6	222	97	3.0	4.7	1.0	0.0	0.0	糊後	103.3
遠軽町 (2カ年)	TH1475	6.1	4.2	8.9	281	108	9.3	2.3	2.5	0.0	0.0	糊後	97.5
	KD418	6.2	4.8	8.7	263	116	37.1	3.0	2.4	0.0	0.0	糊後	100.0
鹿追町 (2カ年)	TH1475	5.31	4.8	8.8	298	120	39.4	1.5	3.0	0.0	0.0	糊後黄初	100.0
	KD418	5.31	4.1	8.7	267	122	49.7	1.8	5.5	0.0	0.0	糊後黄初	96.3
農試平均	TH1475	5.26	5.1	8.7	267	110	16.8	2.3	1.5	0.0	0.0	糊後黄初	99.6
	KD418	5.27	4.3	8.6	240	107	35.0	2.6	2.3	0.4	1.7	糊後黄初	100.9
現地平均 (2カ年)	TH1475	6.1	4.5	8.9	289	114	24.4	1.9	2.8	0.0	0.0	糊後	98.8
	KD418	6.1	4.5	8.7	265	119	43.4	2.4	2.9	0.0	0.0	糊後	98.2

注1) 普及対象地域は「早生の晩」を栽培適地とする地域である。2) 場所別平均は北見農試および畜試が3カ年(平成28年～30年)、遠軽町および鹿追町が2カ年(平成29年～30年)の平均値。十勝牧場は1カ年(平成30年)の値。3) 初期生育は1:極不良～9:極良、すす紋病およびごま葉枯病は1:無～9:甚による観察評点。両品種ともに病害の発生が認められなかった場合、累年成績から除いた。4) 折損も含み、倒伏または折損がいずれかの品種で発生した年次のみの平均値である。5) 収穫前は根腐病による萎凋、下垂、倒伏を含む。収穫時は0が健全、1が鉛色ないし褐色に変色、2が鉛色ないし褐色に変色し、かつ空洞化の発生を認めたとした場合の評点による1および2の合計。0.0はいずれの品種も発生が無かったことを表し、累年成績から除いた。

表2 普及対象地域における収量特性

場所	品種名	10a当たり収量 (kg)								乾物率 (%)			乾雌穂 重割合 (%)	乾物中 推定TDN (%)
		生 総重	同左比 (%)	乾物重			同左比 (%)	推定 TDN	同左比 (%)	茎葉	雌穂	総体		
				茎葉	雌穂	総体								
北見農試 (3カ年)	TH1475	6968	91	1018	854	1872	99	1318	99	20.0	45.9	26.9	45.8	70.5
	KD418	7727	100	1032	870	1901	100	1340	100	17.7	46.7	24.7	45.7	70.5
畜試 (3カ年)	TH1475	5214	102	772	756	1528	110	1092	109	21.7	46.3	29.4	49.4	71.4
	KD418	5177	100	666	730	1396	100	1008	100	18.8	46.4	27.2	52.1	72.2
十勝牧場 (1カ年)	TH1475	4901	104	691	795	1487	109	1078	109	22.2	44.4	30.3	53.5	72.5
	KD418	4733	100	621	738	1359	100	989	100	20.5	43.3	28.7	54.3	72.8
遠軽町 (2カ年)	TH1475	5489	92	874	780	1653	98	1171	98	23.0	46.1	30.1	47.4	71.0
	KD418	6031	100	862	817	1679	100	1196	100	20.3	46.8	28.1	48.8	71.3
鹿追町 (2カ年)	TH1475	6506	94	908	738	1646	103	1156	102	19.3	40.9	25.3	44.9	70.2
	KD418	6922	100	858	746	1603	100	1133	100	16.7	42.0	23.2	46.4	70.6
農試平均 (3カ年)	TH1475	5694	99	827	802	1629	106	1163	106	21.3	45.5	28.9	49.6	71.5
	KD418	5879	100	773	779	1552	100	1112	100	19.0	45.5	26.9	50.7	71.8
現地平均 (2カ年)	TH1475	5997	93	891	759	1650	101	1164	100	21.2	43.5	27.7	46.2	70.6
	KD418	6477	100	860	781	1641	100	1164	100	18.5	44.4	25.6	47.6	71.0

注) 推定 TDN 収量は新得方式(推定 TDN=乾物茎葉重×0.582+乾物雌穂重×0.850)で算出した。

表3 病害抵抗性に関する特性検定試験結果(北農研)

品 種 名	すす紋病（1：無-9：甚）						ごま葉枯病（1：無-9：甚）		
	平成27年		平成28年		2か年平均	判定	平成28年	平成29年	2か年平均
	8/22		8/18				9/16	9/29	
TH1475	4.3	中	4.7	強	4.5	やや強	6.3	5.3	5.8
ダイヘイゲン	6.7	弱	7.7	極弱	7.2	弱	8.0	8.5	8.3
チペリウス	5.8	弱	6.7	弱	6.3	弱	6.0	5.3	5.7
KD418	4.0	中	4.8	強	4.4	やや強	7.0	7.0	7.0
39H32	4.7	中	5.7	中	5.2	中	-	-	-
ピエナ	3.0	強	4.5	強	3.8	強	-	-	-

注) すす紋病抵抗性検定試験は試験区2畦に対し感染源系統1畦を配置し、感染源系統に粉碎罹病葉の懸濁液を接種して感染源とした。ごま葉枯病抵抗性検定は試験区に直接粉碎罹病葉懸濁液を接種した。すす紋病は抵抗性「強」～「弱」の基準品種との比較による判定を示す。「ダイハイゲン」は早生品種におけるすす紋病抵抗性「弱」の基準品種であるが、平成28年は他の基準品種と比べて著しい罹病程度であったため「極弱」と判定した。

「39H32」および「ピエナ」はごま葉枯病特性検定試験に供試しなかった。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研北見農業試験場 研究部 作物育種グループ 飯田 憲司
電話 (0157) 47-2633 FAX (0157) 47-2774
E-mail: iida-kenzi@hro.or.jp